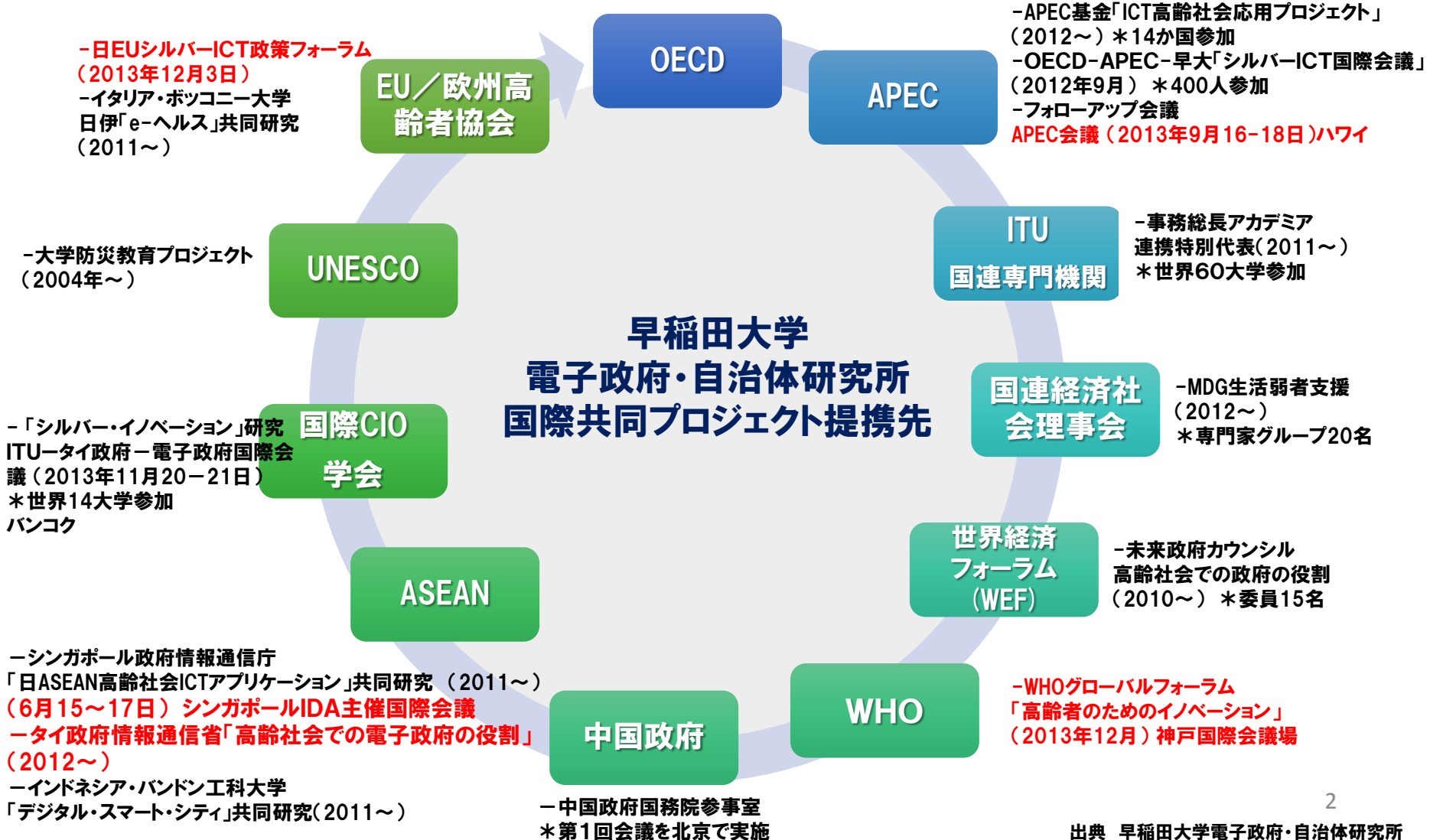


総務省
スマートプラチナ社会推進会議戦略部会

早稲田大学電子政府・自治体研究所
准教授 岩崎尚子
2014年3月19日

ICT超高齢社会－日本の成功事例を世界モデルに 日本発Global Network形成

シルバー・エコノミー・プロジェクト
(2011～)事例実証研究



早稲田大学「超高齢社会と情報社会の融合」講座

-2013年で3年目、全学生対象、160人受講—関心の高さ、学生による対策提言、高齢者との討論会を実施

2013年度 秋学期カリキュラム

No.	実施日	曜日	所属	名前	テーマ
1	9月27日	金	早稲田大学教授	小尾敏夫	オリエンテーション
2	10月4日	金	国立人口問題社会保障研究所室長	小島克久	超高齢社会の現状と問題点について
3	10月11日	金	早稲田大学教授	小尾敏夫	超高齢社会におけるシルバーICT産業規模と日本の役割について
4	10月18日	金	早稲田大学電子政府・自治体研究所准教授	岩崎尚子	超高齢社会におけるソーシャルメディアの役割について
5	10月25日	金	中国高齢社会対策委員会課長	肖宏燕	中国の高齢社会と情報社会の事例について
6	11月8日	金	医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック院長	武藤真祐	高齢者と医療について
7	11月15日	金	交通評論家(トヨタ自動車前IT・ITS担当部長)	亘理章	高齢者とモビリティについて
8	11月22日	金	レポート	—	山梨県大月市訪問(総務省 超高齢社会「ICT街づくり推進事業」対象地域)
9	11月29日	金	戸山シニア活動館館長	滝口宏輔	新宿区立戸山シニア活動館目的と機能、実態と課題などについて
10	12月6日	金	早稲田大学教授	小尾敏夫	海外の事例、日本の課題、情報社会と高齢社会の融合等について
11	12月13日	金	経済産業省商務情報政策局情報政策課長	間宮淑夫	高齢者にとって利便性の高いICTビジネスについて
12	12月20日	金	振替授業		公開講演会(12月11日(水)/早稲田大学井深ホール)
13	1月10日	金	元少子化担当大臣/参議院議員	猪口邦子	政府の役割について
14	1月17日	金	早稲田大学電子政府・自治体研究所准教授	岩崎尚子	世界の高齢社会に向けたICTの取り組み事例について
15	1月24日	金	早稲田大学教授	小尾敏夫	レポート・アンケート

超高齢社会におけるICTの役割の研究

- **インフラの役割**
 - 高齢者の“身体的”“肉体的”脆弱性を補完する
 - 高齢者の日常的障害を取り除き，“自由度”を拡大させる
- **ライフラインの役割**
 - 自然災害などによる被害・犠牲者の7割の高齢者の命綱
 - 安心・安全ネットワークの構築
- **コミュニケーションの役割**
 - 高齢者の“孤立性”を解消し，他者との関係性(ネットワーク)を構築
 - 自助，公助，共助社会の樹立
- **高齢者の豊かさの充実**
 - 高齢者の“精神の自立”を促す
- **高齢者の健康・長寿**
 - 全身健康のためのオーラル(口腔)ケア
- **国際展開への可能性**
 - 超高齢社会問題は地球規模課題，日本の超高齢社会モデルの輸出の可能性
- **超高齢社会事業の評価について**
 - 健康で経済的自立を目指すことが出来る地域づくり

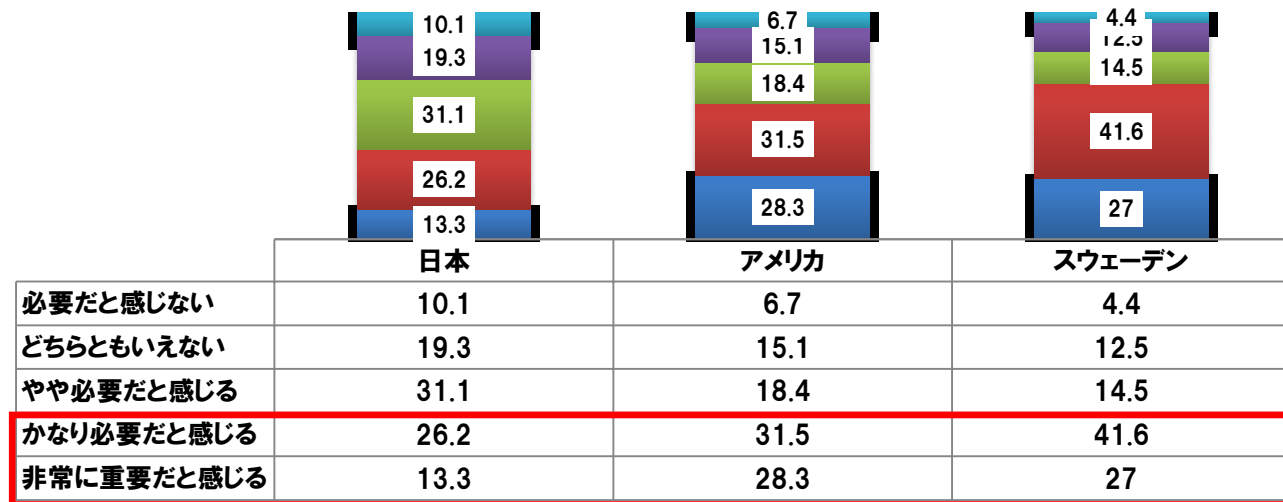
高齢者の身体・精神の自立を促し，
“豊か”で“幸福”な基本的生活を享受させる

オーラルケア(口腔ケア)で予防医療

予防医療という視点の「オーラル(口腔)ケア」

- 1) 自己管理(セルフケア)能力の向上
 - 2) 専門家等による支援と定期管理(プロフェッショナルケア)
- 欧米—「予防歯科」が浸透, 定期的な歯科検診が習慣
 - 日本—平成 24 年に「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」が告示—「予防歯科」への認識, 超高齢化社会への対応—「全身健康」のための予防歯科
 - 課題:医療連携の整備が不十分, 電子カルテの導入, センサーネットワーク利用の口腔ケア

予防歯科についてどの程度必要か



- 非常に重要だと感じる ■ かなり必要だと感じる ■ やや必要だと感じる
- どちらともいえない ■ 必要だと感じない

日EUシルバーICT政策フォーラム

2013年12月3日 ブリッセル

- 日本側:22名
 - 総務省, 経産省, 早稲田大学, 東京大学, 日立, トヨタ, NEC, KDDI, 老テク研究会, ATR, NICTなど
- EU側:25名
 - European Commission Information Society, ECH Alliance, ALL Project, Robot ERA and universities
- テーマ:
 - EU Horizon 2020 and collaboration between Japan EU on Silver ICT
- 共同議長:
 - 日本 小尾座長代理
 - EU-ティンマー局長
- 挨拶:
 - 総務省 田邊室長



Innovation For Our Future.

~ 150 プロジェクトに財政支援

欧州高齢者支援事業



Call 1: 57 M €:
Chronic Conditions



Call 3: 53 M €:
Self-Serve Society



Call 5: 49.4 M€:
Home Care



Call 2: 59 M €:
Social Interaction



Call 4: 52 M €:
Mobility

Call 6:
Pending of Reconfigurations
Occupation in Life

先端技術—ICT×異業種



ソニーウェアラブル端末(IFA)

IFA(ベルリン)2013年9月

メガネや腕時計、イヤホンのように、普段身につけているものをコンピュータとして代用したものであり、現在のスマートフォンよりも直感性や即時性に優れるとされる。サムスン、ソニーが展示

ポストスマホ

- ウェアラブル端末の認知度を一気に高めたのは、米Googleが開発中のメガネ型情報端末「**グーグル・グラス**」
- 「今日の野球の試合結果は」「近くの公園と道順を教えて」**グーグル・グラス**をかけながら話しかけると、右目の前にある小型ディスプレイに次々と情報が映し出される。
- 手ぶらのままインターネット検索や写真・動画撮影、翻訳機能を使えるのが特徴。



富士通 らくらくスマホ(バルセロナ)

Mobile World Congress(バルセロナ) 2014年2月

今年最大関心事

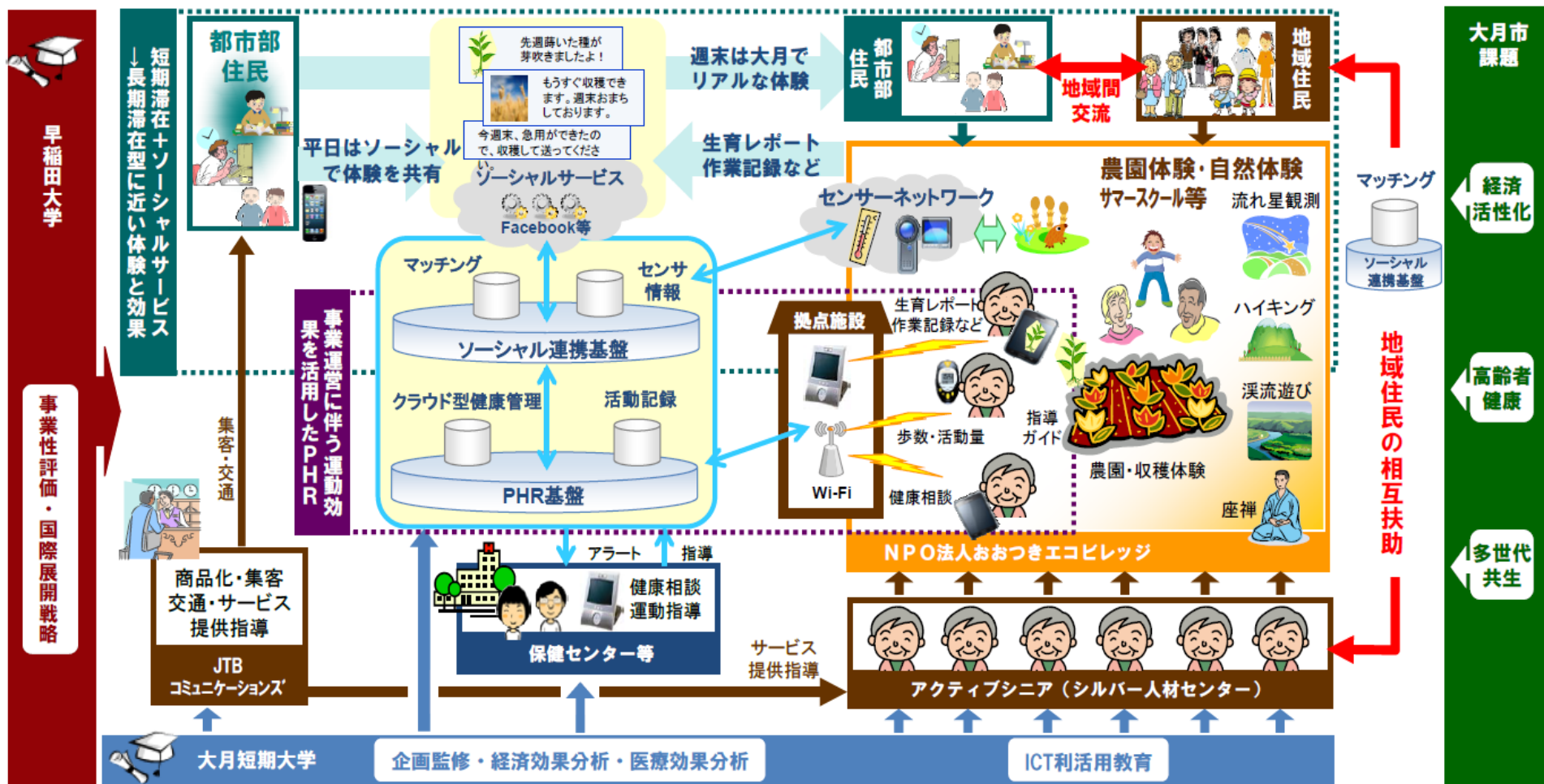
- スマホの低価格競争の激化
- ウェアラブルの台頭
- 「Internet of Things」の出現
- eヘルス
- M2M
- コネクトシティ
- スマートグリッド
- ビックデータ
- ITS
- 5G(第5世代移動通信システム)
- NFC



Connected City (バルセロナ) 8

大月ウェルネス・ネットワーク事業

提案者	大月市（自治体、大月短期大学、NPO法人おつきエコビレッジ、公益社団法人東部広域シルバー人材センター）、 学校法人早稲田大学、東日本電信電話株式会社、株式会社JTBコミュニケーションズ
実施地域	山梨県大月市
事業概要	本事業は、本市が従来から取り組んでいた「大月市の豊かな自然を活用した着地型観光」を、産学官民の連携により、高齢者を主要な担い手とする持続可能な事業運営スキームとして構築するものである。 本事業により、高齢者の積極的な社会参加を促し、ICTを活用して以下の3つの目的を実現する。 A. 高齢者の雇用機会増加による経済活性化、B. 新産業への就労による高齢者の健康づくり、C. 住民参加による地域の多世代共生モデルづくり



事業評価

- ICTは地域が抱える問題の解決策とイノベーション実現の鍵
- **アクティブ・シニア**は就労による健康増進で実現
- 高齢者対策はヒューマンインターフェースとICT利用による融合が要
- 情報社会における高齢者の社会包摂ならびに参加実現には**若者, 女性, 同世代との共生社会**の樹立
- 「**超高齢社会**」教育の重要性ー大学生への**インターンシップ**、**高齢社会科目**の必修化
- **PDCAサイクル**による事業見直しとカイゼンの実現が地域活性化の要
- **テレワークの有効性実証**
- **ICT×異業種**のアプリケーション→ビジネスへの期待
- **国際展開**への発展・応用

世界の関心は日本の超高齢社会対策

- 日本のベスト・プラクティスに学べ
 - **モデル地区**のネットワーク
- 欧米アと国際連携
 - **グローバル・スタンダード**の確立
- 「超高齢社会」産業の育成
 - 官民協調の**成長戦略**
- **総合的**アプローチの徹底推進
 - ICT X 異業種

国際会議(ワークショップ)への御招待

■ テーマ

アジアのシルバーICT“Asia Society and ICT in Asia”

■ 日時

2014年6月15(日)～17日(火)

- 15日夜 歓迎ディナー
- 16日 ワークショップ
- 17日 CommunicAsia2014見学

■ 場所

シンガポール国立大学—東南アジア最大のIT見本市“CommunicAsia2014”と同時開催

■ 共催

APEC, シンガポール政府IDA, 国立シンガポール大学, 早稲田大学, 国際CIO学会

■ 参加者

中国, ASEANなどアジアの専門家約100名が集合, 日本からは, 総務省, 経産省(要請中), NTTデータ, NTT東日本, 新日鉄住金ソリューションズなど(人選中), 早稲田大学(小尾, 岩崎), 医療法人社団鉄祐会武藤医師, 水越弁護士参加 他.

■ 費用

参加費は国際CIO学会が負担, 航空券・ホテル代は各自負担

★昨年12月は日EUシルバーICT政策フォーラムをブリュッセルEU本部で開催, 日本から18名参加

※参加希望者 詳細はobi.waseda@waseda.jp(渡邊)までご連絡ください